


認知症介護 研究・研修 東京センター

2008
年報



2008 年度
認知症介護研究・研修
東京センター

年報

序にかえて

*

認知症のケアに新しい風が吹き始めました。2008年7月、厚生労働者は認知症対策に関する緊急プロジェクトを公表しました。そのなかで、認知症介護研究・研修センターの充実と共に認知症介護指導者の研修や指導者による認知症ケアの普及が記載されています。私たちセンターに対する期待が大きいことは明らかです。

*

新しい風の主流に地域ケアがあります。2007年度にひきつづいて認知症地域支援体制構築等推進事業が行われました。全国の地方自治体等が認知症の地域ケアを推進する事業です。82に及ぶモデル地域が設定され、それぞれの地域文化のなかで認知症とその家族への支え合いの仕組みを作ることが続けられています。従来の「認知症でもだいじょうぶ」な町づくりにつながるものです。東京センターは、本事業へのサポート役として積極的にかかわっています。

*

また、東京センターでは2008年度から新しく、認知症ケア高度化推進事業として認知症ケアの標準化を進めています。事例の蒐集と分析が行われ、ホームページ等を活用してパーソンセンタードケアの理念のもとにケアの個別的な視点を伝える仕組みを創っています。「ひもときねっと」と呼び、3センターの指導者が主役です。並行して介護現場への訪問相談事業が行われ、期待を集めています。さらに海外での認知症ケアの実態調査等が行われ、手始めにスウェーデン、オーストラリアを対象に事業が進行しています。

*

2008年度は、米国に端を発した世界同時金融不安により、急速な景気の悪化と雇用不安が社会問題となっています。一方で超高齢化はさらに進行し認知症をめぐる課題は山積しているのが現状です。これからの認知症ケアを牽引するのは、認知症介護研究・研修センターです。どのような状況にあっても志を高くもって今の現実に対し一歩一歩努力したいと願っています。

社会福祉法人 浴風会
認知症介護研究・研修東京センター
長谷川 和夫



序にかえて …………… 3

Ⅰ 研究活動

1. 研究活動の概要 ……………	8
2. 2008年度の研究事業成果報告 ……………	9
1) 認知症介護予防のための地域支援に関する調査研究 ……………	9
2) Web学習を用いた知識学習による認知症ケアの理解向上のための啓発事業 ……………	11
3) 自治体における認知症地域支援体制構築の効果的な推進に関する研究 ……………	13
4) 認知症介護実践者研修の効果の検証 ……………	15
5) 認知症介護指導者の安定的な確保のための効果的な研修カリキュラムの開発 ……………	17
6) これからの認知症介護指導者に求められる能力と活動領域の開発 ……………	19
7) ユニットケアの推進に関する調査研究事業 ……………	21
8) 認知症地域ケア体制の関係者共同研修のあり方検討会 ……………	23
9) 認知症地域ケア体制構築を行う人材育成のあり方等検討委員会 ……………	24

Ⅱ 研修活動

1. 研修活動の概要 …………… 28
2. 認知症介護指導者養成研修事業 …………… 29
 - 1) 2008年度カリキュラム概要 …………… 34
 - 2) 2008年度のカリキュラムの評価 …………… 35
 - 3) 認知症介護指導者フォローアップ研修 …………… 36
3. ユニットケア研修事業報告 …………… 39
4. 認知症の人のためのケアマネジメント推進事業 …………… 47

Ⅲ その他の事業

1. 2007年度東京センター研究成果報告会開催報告 …………… 50
2. 認知症ケア高度化推進事業 …………… 51
3. 認知症介護研究・研修東京センター講演会 …………… 52
4. 医療機関における認知症ケアの質向上と効果的な地域連携を目指した普及・啓発事業 …………… 53

Ⅳ スタッフ紹介 …………… 56

Ⅴ 運営部活動報告

1. 事業実践記報告 …………… 66
2. 2008年度東京センター活動一覧 …………… 70